

多言語あいさつ会話集の使い方

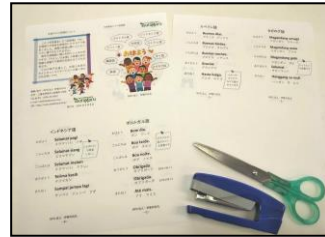
■ 会話集について

「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「ありがとう」「またね」が、ポルトガル語・中国語・スペイン語・韓国語・ベトナム語・インドネシア語・英語・タガログ語・タイ語で書かれている、10ページのミニ会話集です。

訪問先や街で見かけた外国人に、まずは「こんにちは」と日本語であいさつ♪ 次に、その人の母語がわかったら、そのことばで挨拶してみてください。あいさつからコミュニケーションを始めましょう！

■ 準備物

多言語あいさつ会話集のファイルデータ
A4用紙（両面2枚で一冊） / ホチキス / はさみ



■ 作り方

《ファイルデータ使用の場合》

<p>1. データをパソコンの画面に表示させ、印刷する。 ＜プリンターのプロパティ＞ A4 縦で両面印刷（長編とじ）</p>	<p>2. A4 縦用紙を横半分に切る ※2枚目の下半分(白紙部分)は使用しません</p>	<p>3. ページ数を確認しながら、順番に並ぶようにして3枚重ねる</p>	<p>4. 折り目をつけてホチキスで留める 完成！</p>

■ 会話集のねらい

「あの人はどこの国から来たのだろう・・・」「あの人たちは何語で話しているのだろう・・・」と日常生活の中で思った事ありませんか？毎朝見る外国人と道路ですれ違ったり、スーパーで出会った時、言葉が分からないからと、何も言葉を交わさないよりは、たった一言のあいさつでも交わせると、その人と少し分かりあえたような気になります。

ある人は「言葉が分からないから怖い」とか「文化が違うからしょうがない」と思いこみ、少し距離を置いてしまうことがあったようです。でも、一カ月でも日本に住んでいる外国人なら、あいさつくらいは分かるはず。あいさつされていやな顔をする人は世の中にいないはず！

そこで、こちらからまずは日本語であいさつ。次に、その人の生まれた国の言葉で話しかけてみましょう。この第一歩が大切です。この一歩から少しずつお互いによりよい関係を築いていきましょう。

■ その他の活用場面

- ・交流会(おしゃべり会など)の最初に参加者全員で挨拶してみる
- ・国際交流イベント等、多文化共生イベント参加者に会話集を配布
- ・多文化クイズやゲームの景品として配布

